



平成25年
1月

撮影地：鏡野町恩原高原

コメント：人が食べない小さな柿の実に初雪が積まりました。

〈吉井外科医院 吉井康哲先生〉

〈赤磐医師会病院基本理念〉

- ❁ 心のかよう、温かみのある医療の提供に努めます。
- ❁ 安全で質の高い医療を提供し、信頼される病院を目指します。
- ❁ かかりつけ医と連携を深め、地域と共にある病院を目指します。



新年挨拶

赤磐医師会会長 滝澤 貴昭

赤磐医師会病院は、昭和57年3月に県内唯一、医師会立として発足した病院であり、今年31年目を迎えることができました。これも、ひとえに医師会病院を愛し、頼りにしていただいている地域住民の皆さまのおかげと感謝申し上げます。住民の皆さまのご期待にできるだけ沿えるように職員一同精進を重ねてまいりましたが、今後、さらなる医療の質と量の確保・向上のために努力してまいりたいと考えておりますので、ご指導ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

当院は、今春より増築工事に入る予定であり、約一年半の工期を予定しております。通常の診療にはできるだけ支障の無いように努めたいと思っておりますが、工事車両の出入りや、工事に関する騒音・埃などについて、患者さまならびに近隣の住民の皆さまには、ご不快な思いをおかけするかもしれません。あらかじめご了承いただきますとともに、お困りの内容について担当職員にお申し出いただきますようお願いいたします。

当院は設立趣意として、かかりつけ医である赤磐医師会員または近隣地区の共同指導届出医師の紹介状を持参される患者さま、および救急・緊急性の高い患者さまを診療対象とした病院です。

すなわち、診療は原則として、病院と診療所がおたがいの機能を補完し合う病診連携を基本としており、より精密で高度な検査や入院治療が必要な場合に当院を利用していただき、病状が良くなれば、今までのかかりつけの主治医（ホームドクター）のところにもどり、続けて診療を受けていただくようにしております。また救急で当院にて診療させていただいた患者さまも、病状が安定されましたら、できるだけ近隣の診療所などの先生にて引き継いでいただくことをお願いすることがありますので、ご理解ください。その一環として、4月より土曜日の外来診療が無くなりました。ホームドクターに受診されたうえで精密検査や入院の必要ありとの理由で紹介されれば、いつでも対応できる体制になっておりますし、救急患者さまの診療は今までどおりとお考えいただいで結構です。

さて、30年以上前の設立当初は交通事情も悪く、入院治療や特殊検査のために、赤磐の患者さまが岡山市街地の総合病院を受診することには困難が伴いました。また、岡山市内の総合病院も慢性的な満床状態であり、救急車のたらいまわしが社会問題化していました。そこで、我々医師会の先輩たちが、「赤磐の住民は旭川の東側で守る」とのスローガンのもとに、まさに死闘とも言える努力のもとに病院を設立されたと聞かされております。開設当初から、県のへき地中核病院に指定され、さらに平成16年に国から地域医療支援病院に認定されました。現在、道路事情はとてよくなりましたが、高齢化が進むことにより、別の意味で遠方の病院への受診・入院は物理的に困難となっていると思われまます。さらに団塊の世代の方々の高齢化や民間バス路線の縮小などの要因にて、この問題はより深刻化するものと懸念しており、当院に対する地域住民の皆さまの期待は、ますます大きくなるものと考えております。

今年4月には赤磐医師会が公益社団法人に生まれ変わります。このため、当病院の運営を含めて、医師会の事業目的は、公益目的事業に限定され、収支相償として増収分は次に予定される公益目的事業あるいは公益目的のための財産取得・改良のためにしか使うことができません。そこで、今後、赤磐医師会は、地域住民の皆さまの診療にあたるのみでなく、健康増進・病気の予防を目的とする住民対象の講演会や研修会の開催、あるいは大規模災害やパンデミックとよばれる重大感染症蔓延の際の備えなどについて、より充実させていきたいと考えております。その目的で、増築される新館には大きな講義室や、糖尿病の食事指導・研修などにも利用できる大きな食堂なども予定されておりますのでご期待ください。

しかしながら、当病院も、医師不足・職員不足・職員の過重労働による慢性的な疲弊による医療崩壊と無縁とは言い切れません。そこで、良質の地域医療を守るために、病院へのコンビニ的受診は控えていただき、また、かかりつけホームドクターをお持ちいただくようご協力のほどお願い申し上げます。

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

いよいよ新年早々には病院の増改築工事が始まります。およそ1年半の工期になり、皆様方にはなにかと、長期にわたりご不自由をおかけすることになります。安全を最優先にいたしますので、よろしくご理解ご協力をお願い申し上げます。なお増改築工事が完了いたしますと、1階にはリハビリ室、健診室、透析室を設けて、2階を急性期の内科系、外科系病棟に当て、3階には回復期リハビリ病棟を新設し、さらに療養病棟、混合病棟を設置する予定です。

これに伴いスタッフを広く募集しています。お知り合いの医師、看護師、薬剤師、さらにはリハビリ療法士等の方々がおられましたら、是非ご紹介いただければと存じます。

当院は、これまでも紹介型の入院医療を主体にまいりました。今後は赤磐市民病院からの病床移管も予定されており、一層これを徹底し、他施設との連携医療を重視してまいりたいと存じます。限りある国の財源の中で、医療費の制約は避けられません。それぞれの病院もさらに機能分化を進めていかざるをえないと思われまふ。当院は医師会病院という性質上からも、紹介型の入院医療を主体にまいりたいと存じます。皆様方のご理解を引き続きお願い申し上げます。

皆様方にとりまして、本年が良い年になりますよう、切に願っております。

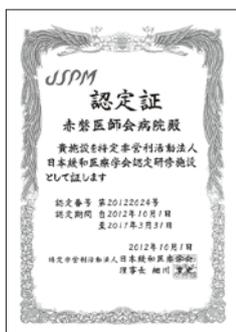
緩和ケア委員会から



内科医師 蓮尾 英明

当院は、地域医療支援病院としてがん医療、緩和医療にも日々努めておりますが、この度、平成24年10月1日付けで「日本緩和医療学会認定研修施設」として認定されました。岡山県では、現在8施設が認められています。

これをうけ当院では、緩和医療専門医を目指す医師の育成に当たることが可能となり、東備地域および岡山県緩和医療の充実のため微力ながら努力して参りたいと考えています。



ら最期の時まで「その人らしい生活を支える医療」を目標にしています。

近年、日本人の望ましい死の構成要素として

- ①苦痛が緩和される
- ②納得のいく意思決定ができる
- ③死に対する心構え・人生を完成させる
- ④迷惑をかけない
- ⑤人としての尊厳を保つ
- ⑥家族との関係を強める

が示されています。

要素①の実現ためには、患者様と医療者が共に心を開いて話しあう時間をもつことから始まります。その人にしかわからない特有の倦怠感・眠りに関わる悩み・表現しにくい痛みやしびれ・医療費の心配・将来の希望・時間の過ごし方などを「この人に話したいな…」と思った医療者にお伝えくだされば有り難く思います。難しい課題に対しては毎週月曜日の事例検討会で共有し、ケアプランを考案していきます。

要素②～⑥のためには、事前に受ける医療を意思決定しておくこと（アドバンス・ディレクティブ）も大切です。私たちは今年8月に委員会の有志で、アドバンス・ディレクティブの頭文字を取り「え〜で〜会」を立ち上げました。医療の希望を予めかかりつけ医とご家族に示しておくことの大切さを皆様にお伝えしたいと考えています。

今後の研修会では「がんの痛みのマネージメント」「アロマセラピー」を予定しています。これからも地域の皆様と共に、緩和ケアの普及・啓発活動を行っていきます。どうぞご意見・ご要望などをお聞かせ下さい。

（病院ではボランティアも募集しています。緩和ケアにご関心のある方はどうぞお気軽にお声をかけて下さい）

看護師 重末千亜紀

私たちは平成22年から緒方正敏医師を中心として事例検討会を始め、平成23年6月より委員会として活動しています。メンバーは医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・理学療法士・社会福祉士・医療事務などの多職種から構成されています。また、今年度からは蓮尾英明医師（緩和医療学会専門医）が加わり緩和医療学会の認定施設となりました。より充実した活動をするために日々研鑽しています。

緩和ケアとは、ご病気や治療に伴う様々な症状を和らげることや、精神的・社会的問題、ご病気と共に生きることへの問いなどに対し、患者様と御家族と共に考え援助を行うケアです。最近では、がんだけでなく他のご病気の方々へもこの考え方が取り入れられており、診断と治療の時期が

糖尿病が気になる人の健康セミナー

平成24年度当院では、岡山県備前保健所東備支所委託事業として、東備地域住民を対象にした糖尿病健康セミナーを企画しました。第1回目として平成24年7月21日に「糖尿病に対する知識を深めて頂き発症の予防と悪化予防、また日常生活が上手く過ごせるよう、治療や障害に関わる社会資源の情報を共有する事ができる」を目標にして、楽しく一緒に学べるようなセミナーを行いました。40数名の参加された人達が熱心にとり組まれている姿や笑顔を見ることで、私たち自身も学ぶことが多くありました。平成25年2月2日(土)に第2回目の糖尿病健康セミナーを和気鶴飼谷温泉にて開催します。1回目より2回目、さらにより良い糖尿病健康セミナーを開くことができるように努めています。

赤磐医師会病院
クリティカルパス委員会
看護師 福島 真弓



「血糖値を測りましょう」



「これから始まります」

糖尿病が気になる人の健康セミナー

テーマ (日常生活の中で糖尿病に対する意識を高めよう)

糖尿病の予防・改善にはよい食生活と適度な運動を心がけることが大切です。自分の食生活を振り返り、糖尿病に対する意識を高めるため、このセミナーを開催しますので、ぜひご参加ください。



日時 平成25年2月2日(土) 14:00～16:00 (受付 13:30～)

住所: 岡山県和気郡和気町666-1

会場 和気鶴飼谷温泉

電話: 0869-92-9001

対象 備前市 赤磐市 和気町にお住まいの方で、以下に該当する人

- ・糖尿病で心配な方
- ・糖尿病の方で食事が気になる方
- ・検診で糖尿病の疑いがあるとされた方
- ・かかりつけ医から紹介された方 等



内容

- 講話**
- I. 上手につきあおう糖尿病
講師: 平病院 糖尿病外来医師 藤原みちこ 先生 (予定)
- II. 予防が肝心! 歯周病
講師: 岸本歯科医院 岸本真 先生

- 体験**
- ① いつでもどこでも誰でも出来る運動のコツ
 - ② 血糖値の変化を知ろう (血糖測定)
 - ③ おやつを楽しく賢く食べよう

専門職によるアドバイスコーナー

よろずなんでも相談 (希望者のみ: 16:00～)

専門職: 医師・歯科医師・薬剤師・看護師・管理栄養士

理学療法士・臨床検査技師・社会福祉士 等



参加費 無 料 (血糖測定も含む)

定員 約 50 名 (先着順)

申込方法 電話又はFAXにて、平成25年1月15日(火)までに、お申し込みください。

*FAXの方は、裏面の参加申込書によりお申し込みください。

申し込み先 赤磐医師会病院 地域医療連携室 (住所 赤磐市下市187-1)

問合せ先 TEL 086-955-6688 FAX 086-955-8062

主催: 赤磐医師会病院 共催: 赤磐医師会・岡山県備前保健所東備支所

ムセ始めたら考える今後の人生! 嚥下食って何? 胃瘻って何?

一般の方を対象にしたイベントを開催します。嚥下障害のある方、離乳食にも使用できるおいしい食事の作り方と、それでも食べられない時につくる胃瘻の話をします。

皆様のご参加をお待ちしています。



PEG委員会 内科医長 柚木 直子

■ 日時: 平成25年4月13日(土) 14時～16時

■ 場所: 赤磐市立中央公民館



内視鏡室紹介



看護師 吉川 加恵

当院内視鏡室は「迅速・安全な対応、的確な診断と確実な治療」を基本理念に上部・下部消化管、胆管、膵管検査及び内視鏡を用いた治療を行っています。

平成20年8月よりNBI（画像を強調観察できる狭帯域光法。粘膜表面の微小血管構造を拡大観察下で明瞭に認識できる。）を搭載したシステムを、また昨年10月よりファイリングシステムを導入しました。

NBIを使用することにより詳細な病変の診断や病態説明ができるようになり、癌などの早期診断・治療に役立っています。

またファイリングシステムの導入により内視鏡所見のIT化ができ、電子カルテと連動させることで、検査・処置後の診察時に電子カルテ上でより詳しい説明なども行えるようになりました。使用したスコープはファイリングと連動した洗浄消毒管理にて履歴を残せるようになったため、より安全な内視鏡を患者様に提供できるようになっています。

スタッフ一同、今後も知識の習得や技術の研鑽を重ね、内視鏡を通じて地域医療の発展に貢献していきますよう頑張っています。



新人紹介

東3階病棟・看護師 ● 近藤加奈子



少しでも皆様のお力になれますように頑張ります。よろしくお願いいたします。

東3階病棟・看護師 ● 入鹿 敬子



いつも明るく笑顔で心にゆとりを持って仕事ができるように頑張りますので、よろしくお願いいたします。

南3階病棟・看護助手 ● 芳賀 紀子



いつも笑顔で患者様と向き合っていくように頑張ります。

リハビリ・作業療法士

● 加藤 聖子



患者さんに温かみのある環境でリハビリを提供できるよう、明るく元気に頑張ります。地域の皆様の力に慣れるよう努力していきたいと思えます。

西3階病棟・看護師

● 池上友里子



ご縁があつてこの8月に岡山県に来ました。まだまだ慣れないこともあり、毎日とまどうばかりです。みんなに支えられているなど実感しています。よろしくお願いいたします。

西3階病棟・看護助手

● 西森喜代香



慣れない仕事の毎日で大変ですが、皆さんに助けてもらいながら頑張っています。これからも元気で笑顔を忘れずに頑張りますのでよろしくお願いいたします。

外来・看護師

● 末永 友里



9月から外来でお世話になっております。初めての地域で新しい仕事なのでご迷惑をお掛けするとは思いますが、明るく楽しく頑張ります。よろしくお願いいたします。

(順不同)

赤磐医師会病院 外来診療・検査担当表

平成25年1月1日現在

| | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|------------------|--------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----|
| 外 来 診 療 | 内科一診 (再診) | 川口 憲二 院長 | 榎本 剛 | 柚木 直子 内科医長 | 緒方 正敏 内科医長 | 川口 憲二 院長 | 休 診 |
| | 内科二診 (初診) | 柚木 直子 内科医長 | 緒方 正敏 内科医長 | 川口 憲二 院長 | 蓮尾 英明 | 蓮尾 英明 | |
| | 外 科 | 戸田佐登志 副院長 | 宮木 功次 診療部長 | 内田 卓之 外科医長 | 戸田佐登志 副院長 | 宮木 功次 診療部長 | |
| | 整形外科 | 片山 信昭 整形外科医長 | 藤田 寧子 整形外科医長 | 片山 信昭 整形外科医長 | 藤田 寧子 整形外科医長 | 片山 信昭 整形外科医長 | |
| | リウマチ外来 (予約・紹介制) | | 片山 信昭 | | | | |
| | 泌尿器科 | | | 和田耕一郎 | | 渡邊 豊彦 | |
| | 疼痛外来 (予約・紹介制) | | 西江 宏行 | | | | |
| | 腎臓内科 (予約・紹介制) | | 梅林 亮子 | | | | |
| | 循環器科 (予約・紹介制) | 灘 隆宏 | 森田 宏 | | 赤木 達 | | |
| 神経内科 (予約制) | | | | | 幡中 典子 | | |

| | | |
|---------------------------------|-------------------------------|--|
| 診療受付時間 午前8時30分 ～ 午前11時 | 整形外科 | 火・木曜日：午後1時～午後3時 |
| | リウマチ外来 | 火曜日：午後1時～午後3時 |
| | 筋電図検査につきましては事前に整形外科医師にご相談下さい。 | |
| | 泌尿器科 | 水曜日：午前8時30分～午前11時・午後1時～午後2時 金曜日：午前8時30分～午後0時（診察は午前10時からとなります） |
| | 循環器科 | 月・火・木曜日：午前9時～午前11時・午後1時30分～午後5時 |
| 腎臓内科 | 第2・4火曜日：午後1時～午後2時30分 | |



材料（4人分）

| | |
|-----|------|
| 菜の花 | 120g |
| 寒天 | 2.4g |
| 白和え | |
| 絹豆腐 | 100g |
| 白ごま | 4.5g |
| 砂糖 | 3g |
| 白味噌 | 6g |

菜の花の白和え

<1人分> エネルギー：37kcal・たんぱく質：2.8g・食塩：0.2g

<作り方>

- ①菜の花を塩ゆでにする。
- ②柔らかくなったらザルに上げて水分を切り軽くしぼってミキサーにかける。
- ③鍋に②と寒天を入れてよく混ぜ、火にかけて寒天をよく煮溶かす。
- ④バットに流し入れ、冷蔵庫で2時間冷やし固める。
固まったら1cm角のさいの目に切る。
- ⑤白ごまは粒がなくなるまでミキサーにかけるか、すり鉢で良くすっておく。
- ⑥ボールに絹豆腐、白ごま、砂糖、白味噌を入れ、木べらで豆腐をつぶすようにしっかり混ぜる。
- ⑦④の菜の花と⑥をさっくり和える。



*「いっしょに食べよ！」ライフサイエンス出版 あかいわチームクッキング作 より

地域医療支援病院 赤磐医師会病院

〒709-0816 岡山県赤磐市下市187-1

TEL 086-955-6688 (代) FAX 086-955-4946

E-mail: akaiwahp@gamma.ocn.ne.jp HP <http://www.akaiwa-mah.jp/>

発行日 平成25年1月15日

